

船舶事故等調査報告書

平成22年11月25日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010横第45号	
事故等種類	衝突（棧橋）	
発生日時	平成22年3月24日 08時20分ごろ	
発生場所	茨城県鹿島市鹿島港 鹿島石油出荷棧橋2号B棧橋 (概位 北緯35°55.0′ 東経140°41.0′)	
事故等調査の経過	平成22年3月25日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 乗組員等に関する情報	
	ケミカルタンカー ^{エメラルド サンブ} EMERALD SAMBU（大韓民国）、1,593トン 9033787（IMO番号）、SAMBU SHIPPING CO.,LTD	
	船長（大韓民国籍）、船長免状 水先人、鹿島水先区1級水先人水先免状	
死傷者等	なし	
損傷	本船 左舷船首部に擦過痕 棧橋 棧橋角部にコンクリート剥離	
事故等の経過	本船は、船長ほか14人が乗り組み、鹿島港において、水先人の操船指揮のもと、右舷船尾にタグボート（約1,765kW）を配置し、鹿島石油出荷棧橋2号B棧橋に左舷着けで着棧作業を行っていた。 水先人は、船首のスプリングライン1本及びヘッドライン2本をとったあと、船尾のスプリングライン1本をとったので、船体を棧橋に寄せようとタグボートを右舷中央部に移動させた。 このとき、本船は、左舷船尾方から吹いていた風が突然17～18m/sの強風となったため、船尾部が棧橋から離れるとともに船首のスプリングラインが緊張し、船首部が棧橋に接近する状況となり、平成22年3月24日08時20分ごろ、左舷船首部が棧橋に衝突した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 8、視界 良好 海象：うねり なし、波高 約50cm以下、潮汐 下げ潮の初期 特記事項：本事故発生当日10時52分、茨城県鹿行地域に強風、波浪注意報が発表された。	
その他の事項	本船は、空船で、喫水が、船首約1.4m、船尾約4.6mであった。 本船は、バウスラスターを装備していなかった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、鹿島港において、ヘッドライン、船首のスプリングライン及び船尾のスプリングラインをとった状態で着棧作業中、左舷船尾方からの風が強まり、船尾部が棧橋から離れるとともに船首のスプリングラインが緊張し、左舷船首部が棧橋に衝突したものと考えられる。

原因	本事故は、本船が、鹿島港において着棧作業中、左舷船尾方からの風が強まったため、船尾部が棧橋から離れるとともに船首のスプリングラインが緊張し、左舷船首部が棧橋に衝突したことにより発生したものと考えられる。
----	---